

## 4. Column③ : 【交通事故】 交通事故でお悩みの皆様へ



### 私たちが解決した事例をご紹介します。

私たちが担当することで、当初保険会社から提示された金額が大幅にアップしました。

被害者の方は、適正な賠償金を得ることができました。

#### 事例 1

#### 提示額 0 円→解決額 3,400 万円の増額！ 過失割合の修正・慰謝料・逸失利益の大幅な増額

##### 保険会社との交渉

ご友人の運転する自動車に同乗中、トラックに衝突されて亡くなってしまったというケースです。

保険会社は、被害者遺族に対し、解決金額として約 5,800 万円を提示・支払済。それ以上の支払には応じないとの回答でした。ご遺族の A さんは、保険会社の対応に納得ができず、私たちに相談しました。

##### 裁判での争点

裁判では、過失割合は認められないこと、慰謝料や逸失利益が低額すぎることを争いました。

裁判での主張・立証の結果、当方の主張が全面的に認められた上、遅延損害金も考慮した金額での和解を獲得することができました。

##### 結果

裁判の結果、当初は保険会社はこれ以上支払う金額はないと主張していましたが、さらに **3,400 万円を獲得**することができました。



#### 事例 2

#### 必要な検査の見直し・適正な後遺障害等級の獲得

##### 治療段階での依頼

B さんは、交通事故で脳挫傷等の傷害を負いました。保険会社からは、何も説明がなく、示談金を支払って解決したいとの提案がありました。B さんご家族は、保険会社の対応を不審に思い、私たちに依頼しました。

##### 病院への同行聞き取り調査

私たちは、B さんのカルテを取り寄せ、怪我の重大さから、予想される後遺障害を検討しました。

そして、追加検査が必要であると判断し、B さんに同行して病院を訪ね、主治医の先生に追加検査を依頼しました。

また、B さんの日常生活の状況等について、聞き取り調査を行い、事故による後遺障害の影響を調査しました。

##### 結果

追加調査等の結果、B さんは、併合 4 級の後遺障害を獲得しました。追加調査等がなければ、より低い後遺障害等級になったことが予想されます。自賠責保険金だけでも、**数百万円の差額**が生じることになります。

私たちは、被害に遭われた方とご家族が、交通事故に遭われる前の穏やかな日常を取り戻すことができるよう、最大限の救済に務めてまいります。

交通事故の法律相談は『無料』です。



### 事例 3

#### 1,300万円以上の増額・逸失利益の大幅な見直し

Cさんは、バイクを運転中、自動車に衝突されたために、左大腿骨骨折等の傷害を負ってしまいました。

#### 保険会社との交渉

Cさんは、当初は自分で示談交渉をしていました。ですが、若干の増額しか提示されなかったため、複数の法律事務所にご相談されました。当事務所も、Cさんからお預かりした資料を検討し、本件で実現されるべき損害賠償額は、保険会社の提示額と相当程度開きがあることから、交通事故の専門家に相談して対応すべきであるとアドバイスしました。その後、Cさんから当事務所に正式にご依頼をいただき、当事務所で代理交渉を行っていくこととなりました。

#### 争点

本件では、逸失利益が大きな争点となりました。保険会社は、労働能力喪失率や労働能力喪失期間について消極的な見解を示してきましたが、当事務所でカルテ等を取り寄せて検討したところ、裁判基準から減額すべき事情はないことを確認し、交渉を続けました。その結果、最終的に保険会社も逸失利益の減額は困難であると判断し、当方の主張額で合意に至ることになりました。

#### 結果

その結果、当初の保険会社の提示額から、**約1,300万円もの増額**を実現することができました。



### 事例 4

#### 2,000万円以上の増額

Dさんは、自動車同士の衝突事故によって、高次脳機能障害及び醜状障害の傷害を負ってしまいました。

#### 保険会社との交渉

Dさんは、保険会社の担当者から、今回の事故に関する示談書を提示されましたが、果たしてこの提示額が妥当かどうかかわからず、ご相談にお越しになりました。ご相談を伺い、相手方保険会社が提示する賠償額を検討したところ、明らかに①後遺障害慰謝料と②後遺障害逸失利益が低額であることが判明しました。

#### 争点

まずご本人のカルテを取り寄せ、高次脳機能障害の程度について検討いたしました。そして、検討結果をもとに相手方保険会社と交渉を重ねた結果、受任から約6ヶ月で、示談に至りました。

#### 結果

結果として、当初の提示額から **2,000万円以上増額**することができたこととなります。

